



# 週間情報



No.2534

発行日 平成25年9月17日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 「キュータ」と「消太」が共同で防火防災広報を実施

東京消防庁豊島消防署では、平成25年8月31日（土）、西武池袋本店において、消防庁と共同で防火防災広報を実施しました。

このイベントは、東日本大震災を契機に始まり今回で3回目となります。今年は、西武池袋本店6階の子ども服売り場周辺に会場を設置。多くの家族連れで賑わうなか、東京消防庁のキャラクター「キュータ」と消防庁のキャラクター「消太」の2名が登場すると、大きな歓声をあげた子どもたちが取り囲みました。

買い物に訪れた多くの方に、住宅防火や家具類の転倒・落下・移動防止等の広報を行うキュータと消太に見守られた、子どもたちの笑顔が輝く瞬間を見ることができました。

#### 東京消防庁（東京）



【防火防災広報の様子】

#### ◆ 救命講習会の実施

#### 川西市消防本部（兵庫）

川西市消防本部では、平成25年9月1日（日）、川西市の「アステ川西アステホール」において、多くの市民へ救命の輪をひろめてもらうことを目的に232名が参加した救命講習会を実施しました。

このような大規模な講習会は、当消防本部では初めての取り組みであり、市内在住、在勤及び在学の中学生以上を対象者とし、心肺蘇生法の手技、AEDの取り扱いを学び、急病人を発見した時には救命リレーの第1走者として期待をしています。

参加した方からは、「救命することの大変さがよくわかった。」「多人数で一斉にできてとても迫力があり、楽しく学べました。」などの感想が得られました。

また、今回のような過去に経験のない大規模な救命講習の開催については、本市での行政経営品質向上や行財政改革の新たな取り組みとして行ったが、受講者1人あたりの資器材単価が高価であったこと、さらにこの資器材を受講者全員が持ち帰ることに対して、検討すべき課題が生まれました。しかし、受講者自らが普及アドバイザーとして、周囲者へ救命手当ての必要性を広めて頂くこと等を想定して費用対効果が満たされると考えました。



【救命講習会の様子】

## ◆ 消防音楽隊のバスに消防広報のラッピング！

### 川崎市消防局（神奈川）

川崎市消防局では、消防音楽隊バスの車体全面に「火災予防」や「消防団員募集」などのデザインシートを貼付した「ラッピングバス」による広報事業をスタートしました。

この事業を展開するにあたり、「火災予防や消防団員の入団促進など、消防のPRに役立てて欲しい。」と、川崎市消防設備協同組合からラッピングシート一式を寄贈していただいたことから、平成25年9月3日（火）に行われた贈呈式において、福井消防局長から同組合の理事長である工藤氏に市長感謝状を伝達しました。

今回の寄贈について、福井消防局長は「消防への多大なご協力に感謝しています。消防音楽隊とともに動く広告塔として、火災予防や消防団員の入団促進に大きな効果をもたらすと期待しています。」と述べていました。

なお、このラッピングバスのデザインは川崎消防署員によるもので、鮮やかなライトブルーを基調として、本市消防局のキャラクターである「太助」のイラストとともに「消火器の規格が変わりました」、「住宅用火災警報器を設置していますか」、「消防団員募集」などがバスの車体全面に描かれています。



【完成したラッピングバス】



【川崎市消防設備協同組合に市長感謝状を伝達】

## ◆ 救急イベントを実施

### 枚方寝屋川消防組合消防本部（大阪）

枚方寝屋川消防組合消防本部では、平成25年9月7日（土）、寝屋川市内の大型商業施設の広場において、救急イベントを実施しました。

この救急イベントは、救急医療週間にあわせて、救急医療及び救急業務に対する正しい理解と認識を市民の皆さまに深めていただくことを目的に行いました。

イベント会場には、本消防組合のイメージキャラクター消太・消子（しょうた・しょうこ）も参加し、会場を盛り上げてくれました。



【イベントの様子】



## ◆ プロレス寸劇による救命講習のPR活動を実施

### 須坂市消防本部（長野）

須坂市消防本部では、平成25年9月9日（月）、信州プロレス所属のグレート☆無茶さんを一日救急隊長として委嘱し、須坂市多目的（防災）広場において、救命講習のPRを実施しました。

このPRは、「救急の日」の行事の一環として行われ、プロレスの寸劇で救命手当を実演し、楽しみながら早期救命手当の必要性を訴えました。

最後に観客の皆さんに講習受講の重要性を伝え、子ども達には「倒れている人を見たら、すぐに近くにいる大人を呼ぶように！」と約束しました。



【寸劇による救命講習PRの様子】

## 訓練・演習

## ◆ 署長検閲消防操法訓練会を開催

### 安来市消防本部（島根）

安来市消防本部では、平成25年8月27日（火）、管内操法訓練場において、署長検閲消防操法訓練会を本署2隊、広瀬分署1隊、伯太分署1隊の計4隊16名で実施しました。

この訓練会は、今年で2回目となり、指導者の育成並びに経験年数の浅い隊員を対象とし、消防の基本（安全・確実・迅速）は消防操法にあることを理解し、今後の技術の糧になることを目的として実施しました。

訓練会までの勤務日は昼夜を問わず空いている時間を利用し、小隊訓練や個別訓練を行い、また、非番日は指導者に指摘された活動を訓練するなど参加隊員が積極的に実施し、指導者でありサポートの隊員も選手を盛り上げ、各署々の結束がさらに強まり相乗効果が表れた内容となりました。



【署長検閲消防操法訓練会の様子】

## ◆ 防災 3 機関による海難救助防災訓練を実施

### 松山市消防局（愛媛）

松山市西消防署では、平成 25 年 8 月 28 日（水）、海難事故発生時における災害対応技術向上を目的に、松山海上保安部及び愛媛県消防防災航空隊との 3 機関合同で、実践的な海上連携訓練を実施しました。

訓練は、地震に伴う津波の発生により、プレジャーボートが転覆し、乗員 3 名が海上へ流されたとの想定により、関係機関への早期連絡、要救助者の検索、海上からの救出、消防救急艇から県防災ヘリコプターへのホイスト救出、医療機関への搬送など、それぞれの機関が連携した活動をすることで、情報伝達の手法や共有すべき情報、各機関の任務分担などが再確認され、相互協力体制の強化を図ることができました。

今後においても、防災関係機関が相互に呼びかけ合うことで、実践的な訓練の実施機会を確保し、海難救助活動上必要な防災関係機関の連携強化を図りながら、さらなる相互協力体制の向上を目指します。



【海難救助防災訓練の様子】

## 教 養

## ◆ 製品火災の検証を実施

### 大分市消防局（大分）

大分市消防局では、平成 25 年 8 月 22 日（木）、当消防局において、製品火災の検証を実施しました。

この火災検証は、市内コンビニエンスストアで発生した火災の原因となったフライヤーを検証するもので、当消防局火災調査担当職員、消防庁消防研究センター、製品製造業者、当該市内コンビニ店関係者が立会いのもと行われました。

参加した多くの火災調査担当職員からは、検証後「専門的な見地から説明を聞くことができ、今後類似火災が発生した際には、より高度な見分をすることができる。」と非常に意義のある検証となりました。



【製品火災検証の様子】

## その他

### ◆ 消防少年団「防火教室」を開催

#### 埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局入間消防署では、平成25年9月7日（土）、当消防署において、入間市消防少年団を対象とした防火教室を開催しました。

当消防少年団では、心身ともに成長する多感な時期に、日ごろから防火に対する正しい知識を持たせ、火災予防を生活のなかの習慣として実践できる社会人に育てようと、毎月1回活動を行っています。

今回は、埼玉県消防学校の火災調査科で使用している実習用資器材「電気火災実験装置」を借用し、電気火災の危険性について学びました。電気火災は出火原因のなかでも、その危険性についてなかなかイメージをしにくいものです。リアルな実験装置を用いて、ブレーカーの作動原理や短絡、半断線からの発火実験など、火災が起こるまでの様子を再現することで理解が深まったと思います。

また、灯油とガソリンの引火点の違いや液化石油ガスと都市ガスの比重の違いなどを学び、身近に潜む火災の危険性を体験学習し、防火に役立つ研修となりました。



【防火教室の様子】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 住宅用防災警報器の不具合に関する注意喚起について（9月9日、消防予第353号）

件名のとおり予防課長より各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知がありましたのでお知らせします。

標記の件につきまして、製造業者より不具合の報告がありましたので、下記事項に留意し注意喚起をお願いします。

各都道府県消防防災主管部長にあつては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知いただくようお願いいたします。

記

- |   |                       |                                 |         |
|---|-----------------------|---------------------------------|---------|
| 1 | 対象となる住宅用防災警報器         |                                 |         |
|   | 種別                    | ホーチキ株式会社製「光電式住宅用防災警報器」          |         |
|   | 型式                    | 電池方式、2種（DC6V、150mA）、連動型、自動試験機能付 |         |
|   | 型式番号                  | 鑑住第17～12号                       |         |
|   | 型式名称                  | SS-2LIA-10HC                    |         |
| 2 | 対象数量                  | （別添1（省略）参照）                     |         |
|   | 平成20年（2008年）1月から3月製造分 |                                 | 計3,000台 |
|   | 製造番号                  | 2008.01.200001～201000           | 1,000台  |
|   |                       | 2008.02.200001～201000           | 1,000台  |
|   |                       | 2008.03.200001～201000           | 1,000台  |



### 3 不具合について

当該製品は、警報器起動開始からの通電時間を計測し、この通電時間があらかじめ警報器内の記憶素子に設定した有効期限データを超えた場合、故障警報を発報する機能を有しています。当該製品の電池容量は10年以上ですが、有効期限データを誤って5年6ヶ月と設定したため、製品設置後約5年6ヶ月で故障警報が発報する不具合が生じています。

なお、当該製品は上記原因により、故障警報が継続もしくは、故障警報の音響を停止している状態においても、火災が発生した場合は正常に火災警報を行います。

### 4 事業者対応について（別添2（省略）参照）

当該製品の不具合についてのご相談は、事業者窓口 0120-998-882 までお願いいたします。（事業者ホームページ <http://www.hochiki.co.jp/news/newsdata/n201309.php>）

#### ○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2509/pdf/250909\\_yo353.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2509/pdf/250909_yo353.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課予防係  
担 当： 増沢、中田

## 消防庁報道発表

### ◆ 「屋外イベント会場等火災対策検討部会」の開催（9月10日）

平成25年8月15日に京都府福知山市の花火大会会場で多数の死傷者を出す火災が発生しました。

花火大会、夏祭り等の多数の観客等が参加する行事において火災が発生すると被害が甚大となるおそれがあり、特に、ガスこんろ等の火気器具及びガソリン等の危険物が用いられる屋外イベント会場等における防火安全対策が極めて重要であると考えています。

このため、消防庁では、屋外イベント会場等における火災予防対策のあり方について検討するため、消防庁が主催する「予防行政のあり方に関する検討会」の下で「屋外イベント会場等火災対策検討部会」を開催することとしたのでお知らせします。

#### 1 主な検討項目

- (1) 福知山市花火大会火災の概要と課題の整理
- (2) 屋外イベント会場等における火災予防対策のあり方

#### 2 検討委員

別紙（省略）のとおり

#### 3 スケジュール

平成25年9月19日（木）10時から、主婦会館プラザエフにて第1回検討部会を開催します。

なお、検討部会は、原則として公開としています。

#### ○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h25/2509/250910\\_1houdou/01\\_houdoushiryou.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h25/2509/250910_1houdou/01_houdoushiryou.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課予防係  
担 当： 吉村課長補佐、増沢係長

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

**◆ 平成25年度「屋外タンク実務担当者講習会」開催案内**  
**～屋外タンク貯蔵所に関する諸問題と技術の継承～**  
**危険物保安技術協会**

昭和52年に特定屋外タンク貯蔵所に係る大幅な基準の整備・開放点検の義務付けが行われてから36年以上が経過しました。また、この間に基準及び安全対策の整備が幾度も行われてきました。

保安の確保は、関連基準の正しい理解及び適切な検査等に関する知識・経験の継承が重要な課題であり、本講習会はこのための一助となるよう開催するものです。

本講習会は屋外タンク貯蔵所の設計、施工、検査及び維持管理等に携わる業務関係者をはじめ幅広い関係の方々に、是非本講習会に参加していただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 主催  
危険物保安技術協会
- 2 協賛  
全国消防長会、石油連盟、石油化学工業協会、(一社)日本非破壊検査工業会
- 3 開催日時及び場所
  - (1) 札幌会場
    - ア 日時：平成25年11月7日(木) 10:00～16:50
    - イ 場所：北海道自治労会館(3F中ホール) (TEL:011-747-1547)  
〒060-0806 札幌市北区北6条西7丁目
  - (2) 大阪会場
    - ア 日時：平成25年11月15日(金) 10:00～16:50
    - イ 場所：新梅田研修センター(Gホール) (TEL:06-4796-3371)  
〒553-0003 大阪市福島区福6丁目22番20号
  - (3) 北九州会場
    - ア 日時：平成25年11月21日(木) 10:00～16:50
    - イ 場所：北九州市立男女共同参画センター(2Fホール)  
(TEL:093-583-3939)  
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
  - (4) 東京会場
    - ア 日時：平成25年11月29日(金) 10:00～16:50
    - イ 場所：科学技術館サイエンスホール (TEL:03-3212-8485)  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号 科学技術館内
- 4 受講対象者  
主に、屋外タンク貯蔵所を保有する事業所、タンクメーカー、非破壊検査会社及び消防機関等の屋外タンク貯蔵所に係る業務に携わる方を対象としていますが、特に限定はいたしません。
- 5 講習内容、時間割の概要等

時 間	内 容	講 師
9:30～10:00	受 付	
10:00～10:05	あいさつ	危険物保安技術協会
10:05～16:50	屋外貯蔵タンクの技術基準の概要等	危険物保安技術協会 タンク審査部
	屋外貯蔵タンクの地震津波対策について	
	屋外貯蔵タンクの老朽化の実態	

	基礎・地盤の基準と維持管理	危険物保安技術協会 土木審査部
--	---------------	--------------------

\* 昼休みが1時間程度、休憩が随時あります。

講師は、危険物保安技術協会タンク審査部及び土木審査部の検査員です。

## 6 受講手続き

### (1) 申し込み

ア 当協会ホームページ(<http://www.khk-syoubou.or.jp/>)を開き、「屋外タンク実務担当者講習会」にアクセスして、インターネットによりお申し込み下さい。

イ 各会場とも、講習会開催日の3日前までにお申し込み下さい。

### (2) 問い合わせ先

申し込み手続き等不明な点につきましては、下記に問い合わせ下さい。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル1階  
危険物保安技術協会 屋外タンク実務担当者講習会事務局 宛  
TEL : 03-3436-2357 FAX : 03-3436-2254 担当：陣内、畑田

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)